

## 令和 7 年度 前年度の改善方策について実行した改善結果

### 1 学習指導について

- (1) 学校関係者評価生徒アンケート「先生は、映像やタブレットなどの ICT を利用し、分かりやすい授業をしている。」の項目の肯定的評価が 91.1%であった。昨年度よりも 3.9 ポイント上回っており、ICT の活用が生徒にとって分かりやすい授業につながっていることが分かる。一方、「先生はプリントや板書の書き方などを工夫している。」の肯定的評価は 88.4%であり、昨年度よりも 1.9 ポイント上回っているものの目標の数値には届いていない。顔を上げれば、今日の授業の内容が一目で分かる板書なども大切にしていける必要がある。
- (2) 「自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。」の肯定的評価は 92.4%であり引き続き高い数値を維持している。授業改善により、授業内における思考の時間を大切にしていることは分かるので、次は、生徒の探究心につながっているかを検証していく必要がある。

### 2 進路指導（キャリア教育）について

- (1) 学校関係者評価生徒アンケート「学ぶことが楽しい。」の項目の肯定的評価は 75.8%で、昨年度よりも 4.9 ポイント上回っているものの目標の数値には届いていない。カリキュラム・マネジメントを意識し、授業の分かりやすさを学ぶことの楽しさにつなげていくことが大切である。
- (2) 「私は、キャリア・パスポートに書いた目標を意識して行動している。」の肯定的評価は 67.6%で、昨年度よりも 10.2 ポイント上回っていて、目標の数値にも近づいてきている。「キャリア・パスポート」は定着してきているが、まだまだ活用の工夫には課題がある。まずはパスポートを利活用し、自分の将来や学ぶことに意欲が持てるようなキャリア・カウンセリングを進めていく。

### 3 全般（学び舎）について

本年度は学校関係者評価アンケートの項目を見直し、学び舎に関わる項目を設けていないため、評価結果は未知ではあるが、みしまの森学舎の幼稚園や保育所、こども園、小学校との連携した活動は継続することができた。次年度は、学び舎全体が世田谷区の研究指定校となるため、さらなる活動の見える化に努めていく。

### 4 その他

WEB アンケートになり、回答率が年々下がっていることに対する改善結果  
アンケートの項目を生徒 29 問→17 問、保護者 40 問→21 問、地域 16 問→10 問に精選し、答えやすい適切な項目数に絞った。また、回答率は生徒 93%→93%、保護者 33%→58%、地域 42%→43%であった。保護者の回答率に関しては 25%上昇し、すぐーる等を効果的に活用した成果がでた。地域に関しては、昨年度末に学校とのかかわりが深く、学校や生徒の様子が分かる方々に絞ったが、引き継ぎがうまくいかずお便り等を送付しているすべての方々に送付してしまったので、回答率が横ばいになってしまった。